



東日本旅客鉄道労働組合 仙台地方本部



本部：菅原情宣担当部長



福島県側：佐藤さん（若松）



山形県側：大山さん（山形）



宮城県側：今野さん（小牛田）

仙台地本として3月12日（火）、仙台市「シルバーセンター」において「2019春闘集会」を開催しました。会場には100名を超える仲間が結集し、春闘の山場を向かえる15日に向けて志気を高めました。集会には本部から菅原情宣担当部長にお越し頂き、現在の団体交渉の経過や社会情勢などの報告をいただき、また各県代表の3名からはこれまで職場で取り組んで来た成果や課題について発言して頂きました。春のたたかいは賃上げだけに留まらず、職場の組合員との対話を繰り返しながら組織強化をしていくこと、また、組織拡大へ向けてJR東労組運動を職場に根付かせることが重要です。今19春闘は非常に厳しい現実となっており、連合は「賃金の上げ幅という要求から、それぞれの産別に見合った水準追求へと転換を図り、今春闘をその足がかりとする」と主張している事からも、これまでの春闘の意義を捉え返せば、春闘の歴史の転換点に立たされています。本部も他産業の動向を見ながら精力的に団体交渉に臨んでいます。本部交渉団を支えるために職場から更に奮闘していきましょう！



2019春闘集会開催